

## ◆前田集会所【平成30年4月17日(火) 参加者数24人】

- ★調査結果等補足説明については、当日発言内容と区別するため【→朱字】で表示しています。
- ★完了事項については、【→青字】で表示しています。
- ★いただいたご意見等はそのまま記載していますので、実際の状況等と異なるものもあります。

No.	質 問 ・ 意 見 等	回 答 等
1	神戸市立医療センター中央市民病院では寝巻きを70円で借りられるが、芦屋病院ではタオルとバスタオルがついてくるが400円もかかり高すぎる。	他市との費用バランスも大切ですので、芦屋病院に点検するよう伝えます。  →芦屋病院では、入院時のご案内で、寝巻等の生活用品はご持参いただくようお願いしていますが、緊急入院やご自身での準備が困難な方には、ご説明のうえ、セット利用(寝巻、タオル、歯ブラシ等)をお申し込みいただいています。現在の入院セット以外にレンタルの種類を増やすことは、契約事務等が煩雑になるため、現時点では困難と考えていますが、近隣の公立病院の状況も確認の上、今後の検討課題とします。
2	市の発行物において、和暦は計算が難しいので、西暦表示にするか、併記して表記してほしい。	併記については検討します。
3	芦屋川より西側の住民は、バスなどの交通手段が少ないため、浜の方で開催されるイベントに参加しにくい。タクシー券補助を始めとした高齢者への交通費助成、コミュニティバスについて要望し続けているが検討されているのか。	重要な課題であると認識しています。高齢者へのタクシー券助成については、調査も実施し、他市の事例をもとに試算しました。結果として非常に高額になると想定され、また、コミュニティバス等の運行も費用面から難しい状況ですが、地域の皆さまが主体的に企画運営される場合には、市も一緒に取り組みたいと考えています。また、現在のバス運賃の助成制度を割り当て直すことによる、タクシー券助成やデマンドバスなどの方策は認識しています。
4	高齢者だけでなく子どもたちも塾の通学などで不便を感じている。防犯の意味でも、送迎のバスやワゴン車などを走らせてほしい。	行政が主導し導入するのは難しいです。民間バス会社による運行など他の方法はないか検討を重ねていますが、まずは地域での気運の高まりが最も重要だと思います。
5	芦屋市では最大3.7メートルの高潮が来ると聞いたが、南部の住民は国道43号線及び2号線を渡らなければならない。緊急時に交通量の多い国道を渡るのは難しいと思うが、防災ガイドブックにその状況は記載されていないので、改訂する際に検討してほしい。	大地震などの緊急時には、車の往来も通常通りではないと思います。避難時間は111分ありますので、早めに行動しより高いところ、より津波より遠いところに避難をお願いします。緊急時に落ち着いてすばやく避難いただくためにも、防災訓練へご参加ください。

## ◆前田集会所【平成30年4月17日(火) 参加者数24人】

- ★調査結果等補足説明については、当日発言内容と区別するため【→赤字】で表示しています。
- ★完了事項については、【→青字】で表示しています。
- ★いただいたご意見等はそのまま記載していますので、実際の状況等と異なるものもあります。

No.	質 問 ・ 意 見 等	回 答 等
6	選挙の日だけ、投票所である精道幼稚園付近の道路に駐車できるようにしてほしい。	体の不自由な方はやむを得ないですが、投票所に車で来ることができると宣伝するのは難しいです。
7	人口問題について、将来に向けて思い切った対策を行ってほしい。	分かりました。
8	市内にカラスが増えていると思うので、頭数を調査して、他市の事例をもとに対策を考えてほしい。また、対策として三条町では金属製の箱型のごみ置き場を溝の上に置いている。しかし、清水町には溝が少なく道路に直接に置くしかないが、違法になるのか。	市では、カラス対策のパンフレットを全戸配布するなど非常に真剣に取り組んでいます。ごみを置く箱はネットのように畳んで置けば可能ですが、物となると構造物となり違法です。 →カラスは活動範囲が広いので、生態調査や対策について兵庫県に要望しています。追い払い策については、市民の皆さまのご協力を得ながら研究していきます。
9	ごみは火曜日なら8時半までに出すなどルールが決まっているが、収集時間がまちまちなので、ずれをなくしてほしい。	基本的に大きな時間差はないと思いますが、確認します。 →基本的には、各車両ごとの収集ルートは頻繁に変更することのないよう配慮していますが、天候やごみの量等により各ステーションへの到着時刻は流動的になります。収集漏れや出し遅れ等の予防の観点からも、午前収集のものは午前8時30分までに、午後収集のものは午後0時30分までに出していただくようご理解とご協力をお願いします。
10	認知症の方をサポートする企画や制度を考えてほしい。	共助の地域づくり及び高齢者施策において、認知症の人をサポートする様々な事業を実施しています。
11	「住みたいまちランキング」で芦屋市は長年1位だったが、最近8位に落ちてしまった。屋外広告物条例などで景観を重視したことが影響して、気軽に行ける飲食店などが減り、住みよいまちでなくなっているためではないか。	屋外広告物条例の影響で飲食店が減っているという事実はありません。ランキング低下の原因は、「落ち着いた住宅街」に特化してきたことによる地価の上昇かと思いますが、これからも落ち着いた静かなまちであるための取組を進めていきます。その中で人口減少対策として、子どもにとっても住みやすいまちにすることにより若い世代の転入を図ります。

## ◆前田集会所【平成30年4月17日(火) 参加者数24人】

- ★調査結果等補足説明については、当日発言内容と区別するため【→赤字】で表示しています。
- ★完了事項については、【→青字】で表示しています。
- ★いただいたご意見等はそのまま記載していますので、実際の状況等と異なるものもあります。

No.	質問・意見等	回答等
12	無電柱化を進めているが、災害時には地下も水没するので、何カ月も電気が復旧しないのではないか。	水没してもすぐに回復できるよう、センサーを設置しています。震災時に倒れた電柱で救助や復旧が叶わなかった経験があり、また景観を大切にすまちとして、無電柱化を進めます。
13	ピーコックストア跡地に10階建てのマンションを建設する計画があり、プライバシーの問題など我々住民と業者で話し合いをしてきたが、住民の立場が弱く、満足のいく交渉ができない。市として、何らかの介入をしてほしい。	業者には、説明会等を行い地域のご理解を得られるようにと指導しています。
14	「こどもファースト」として、少人数で質の良い公立の保育園や幼稚園があったが、最近は大規模な認定こども園を作ろうとしている。また、学童の待機児童対策も遅い。本当に魅力的なまちづくりにお金を使っているのか。	かつて芦屋の公立幼稚園でも300人近いところもありました。今後も子どもファーストで待機児童対策を進めていくつもりです。また、平成31年4月には精道幼稚園と精道保育所が一体となって、公立の認定こども園としてスタートする予定です。
15	屋外看板の規制など、景観対策は進めてほしいが、芦屋川沿いにある市が設置した看板には規制がなく、あちこちに貼ってあり景観が悪い。あれらは必要なのか。	必要性などを含めて看板を総点検します。 →市が設置する看板等については条例の適用除外となりますが、可能な範囲で基準に適合するよう努めています。また、芦屋川沿いの看板を総点検しましたが、不備等はなく、現状では全て必要であると認識しています。
16	公園の清掃を長年行っているが、当初はなかった清掃記録の提出を毎月求められるようになった。清掃員も高齢化して減っている中、ボランティアのような思いで清掃しているので不愉快に思う。	公金で清掃費用をまかなっていることから、報告書の提出が必要ですのでご理解ください。毎月の提出が必要かどうかは、確認し調整します。 →調整し、報告書の提出を半年に一度ご依頼させていただきます。
17	学童保育の指導員を募集してもなかなか集まらず、人材不足である。指導員が増えて学童保育が充実すれば、それを魅力に感じ他市から子育て世代の流入が増えると思う。	ご意見ありがとうございます。

## ◆前田集会所【平成30年4月17日(火) 参加者数24人】

- ★調査結果等補足説明については、当日発言内容と区別するため【→朱字】で表示しています。
- ★完了事項については、【→青字】で表示しています。
- ★いただいたご意見等はそのまま記載していますので、実際の状況等と異なるものもあります。

No.	質 問 ・ 意 見 等	回 答 等
18	コバノミツバツツジは市の封筒にまで記載されているが市内でほとんど見られない。西宮市では市がバックアップして保存活動をしているが、芦屋市ではそのような取組をしないのか。	コバノミツバツツジは根付くのが難しい花ですが、形だけの市花にならないよう、対策を講じて周知したいと思います。